

千葉県帰性会に通い続けて

堀 (39 歳・千葉県)

私はアルコール依存症の AA メンバーとして平成十九年十一月より三年半、月 2 回の帰性会で行われている AA ミーティングに通わせて頂いて、過去の自分と向き合い正直に告白することとで飲酒、借金、逃避から遠ざかることができている。私の過去は十五歳で酒を覚えてから一緒に暮らしていた家族の中で孤立し、定職を持たず家に帰らず飲み屋、ギャンブル場に入りびたりそれらを続けるためにサラ金からの借金をくり返し、二十六歳の時借金の返済ができなくなり家族に知られるのを恐れて逃げるように出ていき、パチンコ店、冷凍倉庫内の仕分け、風俗店の客引きと転々としながら酒を飲み続けるために借金をくり返し、いつも逃げるように職を離れる。平成十四年一月お世話になることができた風俗店酒を飲み続けるために店のレジから売上が金を盗み、店にあるボトルを勝手に飲み続けた。レジから抜いた金を穴埋めするために借金をくり返し、自分の首をしめていった。四年後の平成十八年にはアパートの家賃も払えず、光熱費も払えず放り出し浮浪者になり公園で生き倒れ警察署、市立病院、精神病院、福祉に助けて頂き、もう一度生き直すチャンスを得ました。

AA ミーティング

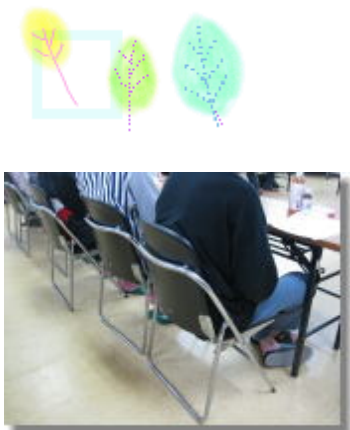
仲間と一緒に帰性会に通い始めた頃は自分には服役経験がなく何を話せばいいのだろうとオドオドしていましたが日頃の仲間とのかかわりやここに通わせてもらうなかで過去経験したことだけを見つめて話していけばいいんだと気づくことができました。

またミーティングの中でメンバーの体験談終了後入所されている方の話から自分と同じような経験された話を聞くと分かち合えた気がしてうれしさを感じます。これからもよろしくお願ひします。

(原文のとおり)



精神科医師によるアルコール依存症についての講義



毎月 2 回集まってお酒による問題について勉強会をしています。

社会奉仕

千葉刑務所の墓地



清掃奉仕 (草取り)
砂利敷きの墓地ですが、草が相当生えていました。

千葉刑務所の墓地の除草作業をしました。希望者を募ったところ 1 名いました。その方は、千葉刑務所で長く服役した方でした。墓地の清掃は、受刑中もなく今回が初めてのことでした。この墓地は、刑務所で亡くなり引き取り手のない遺骨を埋葬しています。刑務所さんからは教育首席さんが、わざわざ現地まで飲み物等を持って来て下さいました。厚く感謝申し上げます。

掃除が終わわり墓地が綺麗になり、奉仕した私たちも気持ちよくなりました。誰のための奉仕作業でなく自分のためのせめての社会奉仕でした。会に帰りシャワーを浴びて体が軽く感じました。参加希望者が少ない、たった 1 名でしたが、1 対 1 の被保護者との貴重な時間に意義があったと思っています。

(帰性会職員 菅原)